

本多忠勝

没後四百年記念

武将弁当

武  
-BUSIN-  
神



1、000円

凛と立っ

色づく

陣の秋



武士

の

懐

威風堂々

# 武

—BUSIN—

# 神

—秋の陣—

## 凜と立つ

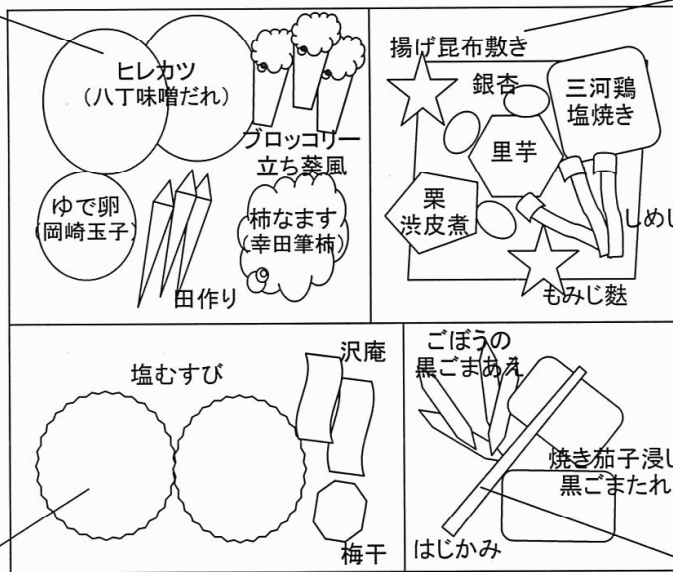
「ただ勝つのみ」が名づけの由来とされる本多忠勝。13歳で初陣に立ち、以降57回の戦にて一度も傷を受けなかったとされます。のちに本多家は、「立ち葵」を家紋としました。

「ただ勝つ」の思いをヒレカツに表現し、また「立ち葵」の紋を、ブロッコリーがイメージしています。

## 色づく秋の陣

晴れやかな秋の陣をイメージした、「吹き寄せ盛」です。出陣式の三肴として供された「栗」・「昆布」をあしらっています。

※戦に出る前の出陣式では「三肴」が供されました。  
三肴 = 「打ち鮑」「勝ち栗」「昆布」  
これらは、敵に(打ち)(勝ち)(喜ぶ)という願いをこめたものです。



## 武士の懐

塩むすび、沢庵、梅干し。戦には欠かせない携帯食です。

武士の食事は米が中心で、一日に五合は食べていたとされます。正に米は、戦士の「力の源」と言えます。

## 威風堂々

戦国時代最強と言われる、平八郎忠勝。敵に恐れられた甲冑を、イメージしました。

忠勝愛用の、「鹿の角の兜」→ごぼうの黒ごまあえ  
「漆黒の胴」→茄子の黒ごまたれ  
「蜻蛉切りの槍」→はじかみ

料理は仕入の都合により、止むを得ず一部内容が変更になる場合がございます。何卒ご容赦下さい。